

宇部市成長産業推進協議会 運営委員会 議事録

1 日時 令和3年11月11日(木) 10:00~12:05

2 場所 宇部市文化会館2階 研修ホール

3 出席者(敬称略)

<運営委員>

	所属・役職	氏名	代理出席
商工団体	宇部商工会議所 会頭	杉下 秀幸	
企業	宇部興産株式会社 執行役員	三浦 英恒	宇部渉外部長 井原 毅
	セントラル硝子株式会社 宇部工場長	毛利 勇	工務部長 森野 讓
	西日本電信電話株式会社 山口支店長	中川 健一	副支店長 増野 勝利
	株式会社ヤナギヤ 代表取締役社長	柳屋 芳雄	常務取締役生産本部長 藤本 哲憲
	ユーピーアール株式会社 代表取締役社長	酒田 義矢(欠席)	
大学等	国立大学法人山口大学 大学院医学系研究科長・医学部長	篠田 晃	
	国立大学法人山口大学 大学院創成科学研究科長・工学部長	堤 宏守	
	国立大学法人山口大学 大学院技術経営研究科長	福代 和宏	
	独立行政法人国立高等専門学校機構 宇部工業高等専門学校 校長	山川 昌男	
金融機関	株式会社山口銀行 宇部支店長	辻屋 誠	
	株式会社西京銀行 宇部支店長	岡田 一夫	
	西中国信用金庫 宇部支店長	西田 祐一(欠席)	
支援機関	地方独立行政法人 山口県産業技術センター 理事長	川村 宗弘	
	公益財団法人 やまぐち産業振興財団 副理事長	福田 浩治	
自治体	山口県商工労働部長	小関 浩幸	新産業振興課長 縄田 浩之
	宇部市長	会長 篠崎 圭二	

<事務局>

商工水産部 部長 冨田 尚彦、理事 三戸 敏彰

成長産業創出課 課長 佐々木 信、主幹 弘中 秀治、副課長 松田 映子、係長 清永 浩幸、主任 奥嶋 貴子

4 内容

(1) 会長挨拶

(2) 宇部市成長産業推進協議会の取組報告

別紙、資料3により事務局（佐々木課長）が内容説明を行った。

### (3) 宇部市成長産業推進協議会の今後の取組の方向性

別紙、資料4により事務局（冨田部長）が内容説明を行った。

### (4) 会員企業の取組紹介

#### 【株式会社ヤナギヤ】

医療・医薬分野への挑戦ーヒト用高純度 DNA ワクチン実用化時代に向けた大容量 PCR 技術・装置の開発ー  
株式会社ヤナギヤ 藤本常務取締役からご説明いただいた。

### (5) 意見交換

#### 【主な発言概要】

- ・ 1990年代までは、借金で成長できていた。今は投資先（使いどころ）が見えないため、内部留保が増えている。賃金としてよりも研究開発への投資が重要と思う。しかし、使い道の模索が1企業だけでは難しい。地域の強みをいかに活かして行くかが、この協議会の役割である。生き残っていくにはセンスが大事である。
- ・ 現在、環境やヘルスケアの産業が盛り上がっている。ニーズを的確に捉え、スピード感をもって対応することが重要である。
- ・ 全国では2900社の大学発ベンチャーが生まれており、うち山口県では24社である。ベンチャー企業が成長するには、マーケティング人材や経営人材がなかなか確保できないといった課題がある。
- ・ 新たな産業を起こすには、新しいシーズを生み出すことも重要であるが、既存のシーズのクオリティを高めることも重要である。また、産業界と学术界では、シーズに対する認識の違いがある。学术界のシーズは産業界では、役に立たないものもある。産業界と学术界でいかに連携して行くかといったコミュニケーションが大事である。
- ・ 企業シーズも大事と感じた。新しい結合もあるし、ニーズもあるように思う。最先端シーズだけでなく、既存シーズの組み合わせで新しいものになる可能性もある。わかりやすい情報発信、市民の知識を高めることも地域の発展につながる。

### (6) まとめ（会長）

産業を作った後も、人材の確保が必要となる。企業訪問をした際、言われたことは、有益な人材を必要としているということであった。人材がいれば、企業誘致にもつながる。

先人の次世代への投資により、今日の宇部の発展がある。シーズをリソースとして産業化につなげていく。皆さんからいただいた課題を施策の展開に生かしていきたい。

#### 【配付資料】

- ・ 運営委員会委員名簿 資料1
- ・ 配席図 資料2
- ・ 宇部市成長産業推進協議会の取組報告 資料3
- ・ 宇部市成長産業推進協議会の今後の取組の方向性 資料4